

# つくば市記者会 御中

発信日：令和元年（2019年）11月29日（金）

発信元：つくば市政策イノベーション部情報政策課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

公共サービス共創事業「つくばイノベーションスイッチ」

## AIで議事録作成 会議の文字起こし業務の効率化へ — 株式会社NTTデータと共同研究を開始



つくば市は、株式会社NTTデータとともに、クラウドサービスを利用したAI議事録ソリューションによる業務効率化に関する共同研究を12月より開始します。

本研究は、「つくばイノベーションスイッチ」の一環として、NTTデータより提案を受けて実施するもので、議事録作成業務における業務負荷軽減効果により、よい市民サービスの創出や、職員のワークライフバランス推進に役立てられるかなど検証を行ってまいります。

### 研究課題 タイトル

AI技術を活用した会議録等の文字起こし作業  
自動化による自治体業務の負荷軽減及び効果

#### ●実施時期

令和元年（2019年）12月～令和2年3月末

#### ●研究概要

クラウドサービス型のAI議事録ソリューション「AI Minutes for Enterprise」を利用し、つくば市の会議録等の作成業務を自動化することで、業務の負荷軽減効果や付加価値を測定し、導入に向けての課題抽出を行います。

#### ●研究対象とする会議等

会議録を公開している会議を対象として選定予定

※詳細は別紙を参照してください。



### 公共サービス共創事業（通称：つくばイノベーションスイッチ）

業務効率化につながるICT製品やサービスの創出につなげるため、つくば市が行政をフィールドに民間事業者等と共同研究を行う事業。第1弾として、平成29年(2017年)に全国の自治体で初めてRPAによる業務自動化の共同研究を実施。



市HPはこちら

# 【別紙】

## 1 導入目的

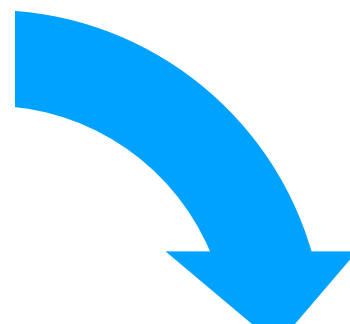
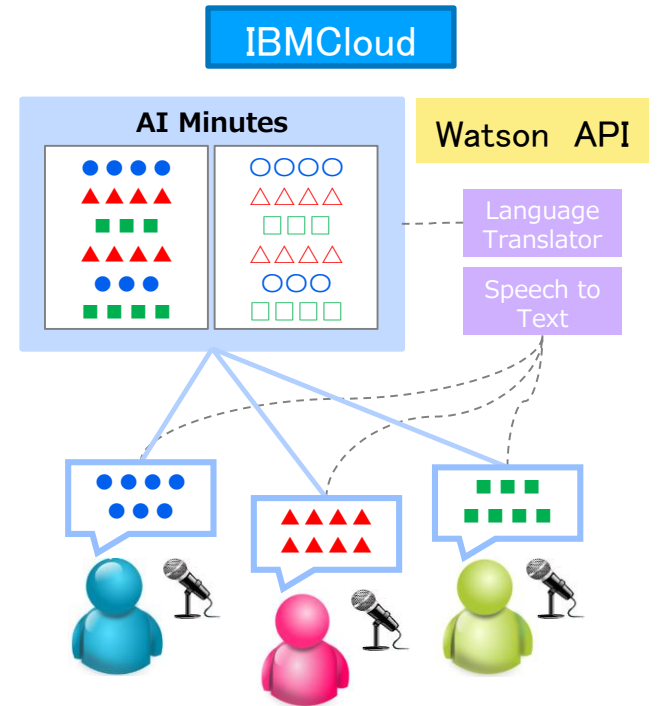
つくば市では、各種会議の議事録作成するために、職員がICレコーダーの録音データを何度も聞き返しながらか作業を行っており、会議時間の何倍もの時間を要しています。また、会議終了から議事録作成までの期間短縮の要望もあり、議事録作成に対する職員の業務負担が課題となっています。

今回の実証実験により、AIによる議事録起こしを利用した場合にどの程度の業務負担軽減につながるかを検証します。

## 2 使用するシステムの特徴について

AI議事録ソリューション「AI Minutes for Enterprise」は、IBMのAI「Watson」の音声認識機能を利用し、リアルタイムで音声をテキスト化し、更に翻訳も可能にします。

また、関連情報の記載されている文書をテキスト・データで事前読み込ませておくことにより（コピー＆ペースト）簡単に学習させることができ、認識率向上を図ります。



**関連の文献（たとえば前回の議事録）を  
コピー＆ペーストで読み込ませるだけで、  
AIが学習して認識率を向上させます**